

## 講演部門 報告

報告：沼田 栗実

担当者 エイズ出前授業：沼田 HIV のリアルを伝える：秋山

●概要：学生、専門職（病院・企業・行政・介護施設・社会福祉施設・就労移行支援施設などを  
含む）、保護者向け講演をおこなう。

●目的：HIV/エイズに関する知識の普及により、HIV 陽性者への理解促進、予防意識の向上を  
目指す。

年齢に合わせた性の健康教育を実施し、心身の大切さ、守り方を伝える。

HIV に感染する仕組み、HIV 陽性者の通院・治療・医療費、最新の HIV 治療の常識や  
HIV 陽性者の抱えている問題などについて、生の声を伝える。

●経過：

- 1 講演部門に依頼はなく、エイズ出前授業は行っていないが、「HIV のリアルを伝える」で  
は、例年、依頼いただいている仙台のコミュニティセンターZEL から依頼があり、「HIV  
陽性者と語ろう」に参加できた。
- 2 世界エイズデー札幌実行委員会が札幌市より委託を受けて実施している「学生向けエイ  
ズ・性感染症出張講座」に協力できた。

●結果・効果：

- 1 スタッフの繋がりもあり、道外のコミュニティセンターからお声かけがあり、2024 年度  
も参加し、HIV 陽性者のリアルを伝えられる機会を持てた。
- 2 世界エイズデー札幌実行委員会の札幌市受託事業「学生向けエイズ・性感染症出張講座」  
として、札幌市内の大学 2 校（札幌保健医療大学、日本医療大学）に、講師として講演を  
実施できた。  
次年度は、世界エイズデー札幌実行委員会の高橋実行委員長より、この札幌市受託事業を  
当会に引き継ぎたいと相談されている。講演依頼も少ないので、スタッフとも相談し、前  
向きに検討していく予定である。
- 3 一度しかできなかったが、講演スタッフで集まり、話し合うことができた。今後の講演活  
動についてや HIV/エイズの最新情報について、スタッフ間で共有できる時間となった。

●課題：

- 1 毎年のものであるが、講演依頼がない年が続いているため、スタッフのスキル維持を懸念  
しており、アシスタントを含め、講演経験を重ねるのが難しい環境でもあるため、今後も  
さまざまなテーマ、さまざまな講師で、スタッフのスキルアップにつながるミニ内部勉強  
会を開催していきたい。
- 2 講演の質を高めるため、会の中で事前に徹底したリハーサルができるようスケジュールを  
調整して行く必要がある。
- 3 スタッフ間でコミュニケーションを綿密に取れるよう、2025 年度も年に 1~3 回くらい  
の頻度で、話し合いの場を設け、情報共有をして行く。
- 4 平日に活動できる講演スタッフの獲得と継続的なスタッフ育成を引き続き行って行く。
- 5 講演先の依頼条件の検討（随時）と講演部門の HP の内容改訂を検討する。また、現在、  
HP から簡単にアクセスする方法がないため、外部から講演活動に対して、Google フォ  
ームなどを使用しながら、アクセスしやすい環境を作っていく。
- 6 2025 年度は、世界エイズデー札幌実行委員会とも協力して、講演活動の幅を広げられる  
ように調整している。

※2024 年度の講演部門実績

- HIV のリアルを伝える

実施日	主催	講演内容等	講師
2024 年 10 月 6 日	コミュニティセンター ZEL (宮城県仙台市)	※HIV 陽性者と語ろう	秋山 満

- エイズ出前授業

実施日	学校名	講演内容等	講師等
2024 年 6 月 12 日	札幌保健医療大学	世界エイズデー札幌実行委員会 札幌市受託事業「学生向けエイズ・性感染症出張講座」として	沼田 栗実
2025 年 1 月 16 日	日本医療大学	世界エイズデー札幌実行委員会 札幌市受託事業「学生向けエイズ・性感染症出張講座」として	沼田 栗実 秋山 満